ヘルシーメニュー作りに挑戦

12月9日、保健センターで村食生活改善協議会（会長東川寛子氏）が料理講習会が開かれ、会員34人がヨーグルトなどの乳製品を活用したヘルシーメニューの料理作りに挑戦しました。

講習会では、森永乳業㈱専任講師の佐野悦子栄養士を講師に迎え、ヨーグルトに含まれているビフィズス菌BB536について学んだ後、参加者らは４グループに分かれてキーマカレー麺、ガドガド風サラダ、ラッシープリン・トロピカルソースがけ３品の料理を完成させました。

東川会長は「クリープが料理にも使えることがわかり、勉強になりました」と感想を述べていました。

利用者さんに一足早いプレゼント

北海道コカ・コーラボトリング㈱から障がい者支援施設ふれあいの苑に清涼飲料水50ケースが贈られました。12月10日、その贈呈式が同施設で開かれ、北海道コカ・コーラボトリング㈱リテール事業部岩見沢販売課の山根祥宏課長から障がい者支援施設ふれあいの苑高柳直人施設長に目録が手渡されました。

北海道コカコーラ・ボトリング㈱では、地域貢献活動の一環として1968年（昭和43年）より毎年道内の各市町村の福祉施設に清涼飲料水などを届けています。

高柳施設長は「寄贈していただた清涼飲料水は、利用者さんにとってうれしい贈物です」とお礼を述べていました。

今度はお家でも作ってみたい！

12月10日、新小6年生29人がしんしのつ温泉たっぷの湯小岩靖志料理長を講師に新篠津村産のお米などを使って太巻きや茶わん蒸しなどの料理づくりに挑戦しました。

これは、児童が地元の食材を使用した調理体験を通じて、基幹産業である農業や地産地消の理解を深めることを目的に食育事業の一環として行われ、開催したものです。

最初、包丁の使い方がぎこちなかった児童らは、小岩料理長のアドバイスを受け、徐々にコツをつかみ、上手に食材を切っていました。

今回太巻きづくりを担当した佐藤そにあさんは「今度はお家でも太巻きをつくってみたい」と意気込みを語っていました。

白熱！ミニバレーボール大会

12月10日、Ｂ＆Ｇ体育館で教育委員会主催の第24回だれでもミニバレーボール大会が開催されました。

これは、地域住民の親睦、冬期間における体力づくりと健康増進を図ることを目的に毎年行われています。

大会には７チームが参加し、ミニバレーを通じて交流を深めました。今年は総当たり戦となり、10分1セットで得点が多い方のチームが勝利するため、時間との戦いにもなり、白熱した試合が繰り広げられていました。

参加者らは、声を掛け合いながらコート内を動き、得点が入るたび笑顔で喜び合っていました。